



校報

# 水糸者

No. 1263

元年度・第122号

## 『海洋サミット』で発信

### ～第5回海洋教育子どもサミット in ひろの～



堂々と発表をする種小っ子の姿

本校6年生の4人（石倉滉太さん、安藤 佑さん、大坪琉那さん、小森美空さん）が、29日（金）にセシリアホールで行われた「第5回海洋教育子どもサミット in ひろの」に参加し、今まで総合的な学習の時間（「ひろの学」）で調べてきた、洋野町の未来に向けての提言を発信してきました。



他校や他県、合わせて30校の発表を聞いて回る6年生。



多くの聴衆に囲まれての発表となりました。多くの観衆に囲まれてもいつも通りの姿の子ども達からは、日頃の充実した学校生活が伝わってきました。



無事に発表が終わり、ほっとした表情の6年生。

今後の世の中は「先行き不透明で、予測困難な時代」がますます加速されて行くと言われています。

そのような時代を生き抜くためには、先生や親に言われて内容だけを繰り返す勉強や、暗記中心の勉強では、時代に取り残されていくのは明らかな事です。

疑問に感じた事や問題点を自らが主体的に解決していく『問題解決型』の学びが大切となっています。

「海と人の未来のために」と題しての4人の発表では、今まで学習してきた、磯遊びや海浜清掃や植林体験、水生生物学習などの『五感』を刺激した、体験学習を基に獲得してきた多くの「感動」や「気づき」などから発生する学びの動機が明確にあり、それに基づいた提言が『発信』がされていました。

海と関わることで環境問題に気づき、その解決策として自分たちができることを考え提言したすばらしい6年生でした。



# 今年も「チーム種小」は、 アンバーホールを湧かせました!

令和元年度久慈地区  
合同学習発表会



♪♪絆と自信を深めた「久慈地区特・支合同学習発表会」♪♪

29日(金)に久慈市・アンバーホールで行われた「令和元年度久慈地区特別支援教育研究会合同学習発表会・作品展示会」に参加した11名の種小っ子達は、今までの学習の成果をしっかりと発揮し、宿戸小学校の児童と合同での発表を、大舞台でもいつも通りの明るく楽しい発表をしてきました。

展示した作品もいつもの学校生活そのものを表すような勢いを感じる力作を展示しました。参加した管内の小・中学生との絆を深めた時間ともなりました。



種小バージョンとして演じた名作「泣いた赤おに」は、みんなのやさしい心が1つになり、ハッピーエンドで幕が閉じました。心温まる展開となった劇で、会場は幸せで心地よい雰囲気になりました。コミカルに堂々と演じた子ども達。11人全員がしっかりと演技きった事が素晴らしい! 大舞台でもいつもと同じノリノリの姿がとっても良かったです。



参加した24校120名全員で「ビリーブ」を元気に歌いました。澄んだ歌声が会場いっぱいに響きわたりました。この発表会で聴く「ビリーブ」は、何度聴いても毎回感動します。

アンバーホールでも普段どおりの明るさとやる気を示した、はまなす学級の11名の子ども達。わずか2週間であのような素晴らしい出来栄を示した子ども達からからは、今までの学校生活や2週間の練習で得た『自信と誇り』が伝わってきました。

アンバーホールで観ている人、全てに感動と笑顔を与えてくれた11名のすばらしい種小っ子を誇りに思った時間でもありました。よくがんばりました。

